

質問事項		記述式回答
賃金の上昇及び設備投資の促進に必要な取組について		
1	好調な企業収益や雇用環境の改善に比べ、賃金の上昇が緩やかになっている要因、また、今後、賃金がさらに上昇していくために、政府はどのような取組を行うべきか、お考えをご教示ください。	賃金の上昇が緩やかになっている要因は、緩やかに景気は回復しているものの、海外とのコスト競争は厳しく、将来不安も払拭されていないため。賃金を一律に上げるというより、裁量労働制を適用する業種を拡充し、成果に応じて頭脳労働、知識集約的労働、非定型業務の賃金をアップしてはどうか。
2	好調な企業収益に比べ設備投資に力強さが欠けている要因、また、今後、設備投資(機械設備、構築物、研究開発等)を一層促すために、政府はどのような取組を行うべきか、お考えをご教示ください。	設備投資に力強さが欠けている要因は、依然海外現地生産の流れを食い止めることができていないため。地方への工場立地は激減している。ただし、九州ではキヤノンやホンダのように国内生産回帰する企業もでており、この流れをより確実にするため、国内生産回帰を促進するような税制や助成金を拡充すべき。